



給食だより



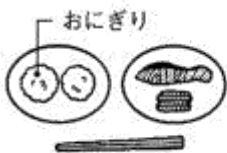
1月は1年の初めの月です。お正月に始まり、七草、鏡開き、小正月等、1年間を健康に過ごすための願いが込められた行事がたくさん行われます。また、毎年1月24日から30日までは「全国学校給食週間」です。この機会に学校給食の意義や役割について、改めて考えてみましょう。

令和3年度 学校給食週間のテーマと献立
「日本の味めぐり」
～学ぼう日本の食文化・給食で日本を旅しよう～

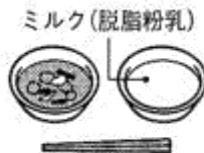


1月24日～30日は全国学校給食週間

明治22年



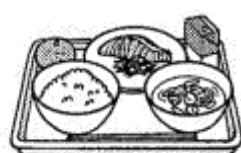
昭和22年



昭和27年



現在



学校給食は、明治22（1889）年に山形県の忠愛小学校で、貧困児童を対象に無償で昼食を提供したのが始まりです。その後、様々な歴史を経て今に至っています。食生活を取り巻く環境が変化している中、学校給食は、栄養バランスのとれた食事で子供たちの健やかな成長を支え、食に関する知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たして

います。給食週間は、このような学校給食の意義や役割等について理解を深め、より一層の充実を図ることを目的として定められました。



クイズ おせち料理には、様々な願いが込められています。それぞれどんな願いが込められているのでしょうか？

黒豆



- ① 健康に暮らせるように
- ② お金に困らないように
- ③ 勉強がよくなるように

えび



- ① 商売繁盛
- ② 交通安全
- ③ 長寿

おせち料理は元々、季節の変わり目の節句を祝うため、神様にお供えした料理「御節供（おせちく）」でしたが、江戸時代にこの行事が庶民に広まり、お正月が1番重要な節句ということで、「おせち料理」といえば「正月料理」を指すようになりました。

24日(月) 秋田県への旅

ごはん、はたはたのフライ
いぶりがっこ風和え物
きりたんぼ汁
米粉のりんごタルト、牛乳



25日(火) 北海道への旅

昆布パン、鮭の味噌マヨネーズ焼き
コーンポテト、旭川醤油ラーメン
北海道牛乳プリン、牛乳



27日(木) 広島県への旅

もぶりごはん、鰯のみぞれ煮
広島レモンドレッシングサラダ
呉の肉じゃが、牛乳



26日(水) 愛知県への旅

ごはん、味噌カツ
きゃべつと
ブロッコリーのごま和え
おとしこし、牛乳



28日(金) 熊本県への旅

ごはん、タイピーエン、フライ餃子
カリフラワーの生姜和え
いちごゼリー、牛乳

